

TOKYO

商工連 Plaza

とうきょう商工連プラザ

商工会は 行きます 聞きます 提案します



古谷取締役社長(左から2人目)と社員の皆様

CONTENTS

- ② 令和7年度 役員研修会を開催
多摩地域商工会エリアの景況(7年度 第1四半期)
- ③ 都青連「青年経営者の主張大会」を開催
都女連「リーダー研修会」を開催 / 人事交流
- ④ 各種助成金のご案内
- ⑤ 多摩観光推進協議会ライドア라운드のお知らせ
- ⑥ 多摩・島しょ地域のイベント(10月~11月)
- ⑦ 事業承継支援事例のご紹介
- ⑧ <連載>多摩おこし・島おこし

確かな品質で
100年企業に

船用電球株式会社

取締役社長 古谷 誠治 氏

P8に関連記事「多摩おこし・島おこし」を掲載

令和7年度 役員研修会を開催

東京都商工会連合会は7月23日、三鷹産業プラザにて「令和7年度役員研修会」を、会場での対面形式とオンライン配信を併用したハイブリッド方式で開催し、多くの役員と事務局長の皆様にご参加いただきました。

近年、ハラスメントに関する社会的関心が高まる中、職場内での適切な対応が求められており、本研修会はその理解促進と実務対応力の向上を目的として開催しました。講師には、新橋共同法律事務所の與那城純（よなしろ・じゅん）弁護士をお迎えし、「裁判例から学ぶハラスメント問題のポイント」をテーマにお話しいただきました。

実際に判例で問題となった具体的事案を紹介し、法的視点で解説しながら、参加型の形式を取り入れ、参加者が主体的に考えながら受講できる構成となっていました。

参加者からは「身近な事例で非常に理解しやすかった」「判断基準が時代とともに変化することを再認識できた」といった前向きな感想が寄せられました。



◀ 與那城純弁護士



◀ 研修会の模様

商工会では、ハラスメントの防止をはじめとする職場環境の改善について、組織としての認識を一層深めるとともに、小規模事業者の皆さまに対して、継続的な情報提供や啓発活動を通じて支援を行ってまいります。

中小企業景況調査 多摩地域商工会エリアの景況

7年度 第1・四半期 4~6月

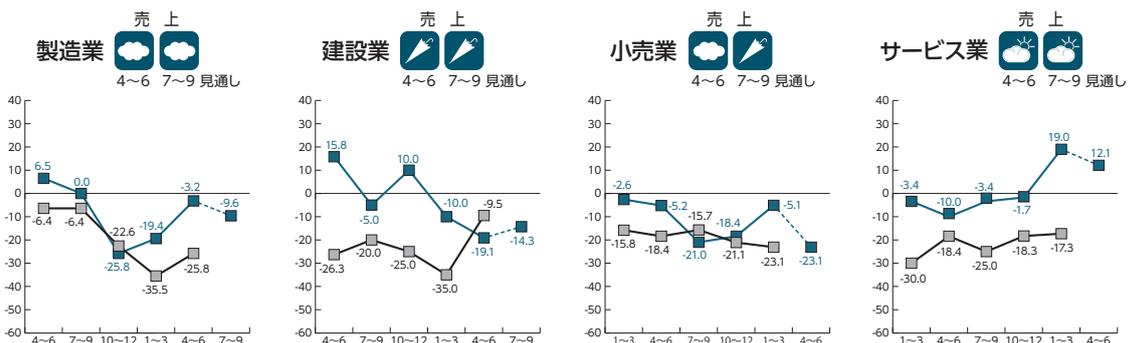
製造業 売上DI、採算DI、資金繰りDIいずれもマイナス幅が縮小。経営上の問題点の第1位は6期連続「原材料価格の上昇」。

建設業 売上DIは悪化。採算DIと資金繰りDIはマイナス幅が縮小。経営上の問題点の第1位は17期連続「材料価格の上昇」。

小売業 売上DIと資金繰りDIはマイナス幅が縮小。採算期中DIは悪化。経営上の問題点の第1位は15期連続「仕入単価の上昇」。

サービス業 売上DIがプラス転換。採算DIと資金繰りDIはマイナス幅が縮小。経営上の問題点の第1位は13期連続「材料等仕入単価の上昇」。

売上高(前期比DI)・採算(期中DI)の推移



注1. サンプルは多摩地域150企業原数値採用。注2. DIマーク ※:+30~ ※:+10~+30 ◯:+10~-10 ↗:-10~-30 ↘:-30~
注3. 売上DI (景気動向指数)は「増加」-「減少」の値、採算DIは「好転」-「悪化」の値。注4. 集計方法の変更のため今期より掲載内容を変えます。

東京都商工会青年部連合会

青年経営者の主張大会開催

東京都商工会青年部連合会(都青連)は6月29日、ホテルエミシア東京立川にて「令和7年度青年経営者の主張大会」を開催しました。各ブロックの予選を勝ち抜いた8商工会の代表が参加しました。

審査委員に、東京都商工会連合会の山下真一会長、渡辺由佳専務理事、東京都商工会女性部連合会の佐藤和美会長、東京都商工会壮青年部の太田泰之部長、読売新聞社立川支局の杉原洋嗣支局長、青年部員から前年度ブロック予選会の優勝者・準優勝者の中から4名を迎えました。

各代表の経験をもとにした熱い発表が行われ、最優秀賞には、安東周二郎さん(国分寺市商工会)の「地元の名産品～地域に恩返し～」、優秀賞には森谷隼斗さん(あきる野商工会)の「魁」、特別賞には佐藤亮彦さん(調布市商工会)「調布子ども屋台選手権と『守破離』の精神」がそれぞれ選ばれま



▲授賞式にて(左から都青連中村文亮会長、国分寺市商工会安東周二郎さん、都連山下会長)

した。最優秀賞に選ばれた安東さんは、「武蔵国分寺の地で作られる東京うどの魅力を知ってほしい」という強い思いから、室の中で育った東京うどの新たなカタチとして「武蔵国分寺七味」を開発し、その経験や教訓を披露しました。

安東さんは10月1日に栃木県宇都宮市で開催される関東ブロック大会に進出します。

東京都商工会女性部連合会

女性部リーダー研修会伊豆大島で開催

東京都商工会女性部連合会(都女連)は6月3日～4日の2日間、「女性部リーダー研修会」を伊豆大島で開催し、都女連からは佐藤会長ら20名、大島町商工会女性部他11名が出席しました。

一行は東京竹芝から高速ジェット船に乗り、伊豆大島へ到着。最初に、三原山・ふるさと体験館・地層切断面・波浮港(旧港屋旅館)・元町港・郷土資料館を視察し、続いて大島町商工会女性部との意見交換に臨みました。

意見交換会の最初のテーマ「大島町の地域づくりについて」では、大島町商工会女性部、ゲストハウスグランマの高橋千香氏より、空き家の活用や移住者支援、古民家ゲストハウスの運営など、大島町の活性化に積極的に取り組んでいる内容の紹介がありました。

次に波浮港醸造(株)の代表取締役である吉本浩



◀伊豆大島・岡田港にて

二氏が「Uターンの若手事業者における新たな取り組みについて」をテーマに、波浮港での事業展開や地域づくりについてUターンの背景やDIYによる施設運営、地ビール製造など多様な取り組みを紹介しました。参加者からは、「視野が広がってとても勉強になった。」「地域と密着し、若い人の考えを取り入れることで地域発展に活かせると感じた。」といった声が寄せられました。都女連と大島町商工会女性部間の交流が図られた、有意義な意見交換会となりました。

人事交流

▼採用 (5月1日) ▽三鷹 業務 新妻 大典
(5月1日) ▽大島町 業務 浅田 和音
(6月1日) ▽西東京 業務 松山 采子
(7月1日) ▽日野市 記帳 大竹 麻友

▼退職 (4月30日) ▽日野市 業務 高橋 奎吾
(4月30日) ▽大島町 主事 鈴木 亮平
(5月31日) ▽大島町 主事 河野 敬太
(5月31日) ▽小笠原村 主事 高橋 友香
(8月31日) ▽小笠原村 業務 大瀧 春菜

地域名は商工会名。業務は業務支援員。記帳は記帳相談員の略です。

令和7年度

スキルアップ支援事業のご案内

助成金

都内企業の従業員の職業能力の開発及び向上を促進するため、従業員向けに行う研修の経費の一部を助成します。4種類の助成金の中から、研修の内容や実施方法に応じたものを活用しましょう!

対象事業者：都内中小企業者等(法人・個人事業主・中小企業団体) ※令和7年度より対象事業者の範囲が拡大し、会社法以外の法律に基づき設置される法人が新たに助成対象になりました。(公益法人、学校法人など)

受付期間：令和7年3月1日(土)～令和8年2月28日(土)

提出期限：研修開始の1か月前まで

①事業内スキルアップ助成金(自社企画の研修)

助成額：助成対象受講者1人1時間あたり760円

上限額：上限150万円(事業外スキルアップ助成金と合計して)

※上限額に達するまで複数回の申請が可能。

対象経費：指導員・講師謝金、会場借上料、教科書・教材費、その他当該研修に直接必要で財団が認める経費

②事業外スキルアップ助成金(社外による既存の研修)

助成額：助成対象経費の1/2以内

(1人1研修あたりの上限25,000円)

※小規模企業者又は非正規雇用労働者が助成対象受講者の2割以上を占める場合は2/3以内

上限額：150万円(事業内スキルアップ助成金と合計して)

※上限額に達するまで複数回の申請が可能。

対象経費：受講料、教科書及び教材代、研修に付随する登録料・管理料、その他当該研修に直接必要で財団が認める経費

③DXリスキング助成金(DX推進のための研修)

助成額：助成対象経費の3/4以内

(1人1研修あたりの上限75,000円)

上限額：100万円

※上限額に達するまで複数回の申請が可能。

対象経費：受講料、教科書及び教材代、研修に付随する登録料・管理料、研修を計画するためのヒアリング料、会場費、その他当該研修に直接必要で財団が認める経費

④育業中スキルアップ助成金(育業中のスキルアップ研修)

助成額：助成対象経費の2/3以内(大企業は1/2以内)

上限額：100万円

※上限額に達するまで複数回の申請が可能。

対象経費：受講料、教科書及び教材代、研修に付随する登録料・管理料、研修受講時の託児サービス料、その他当該研修に直接必要で財団が認める経費

問合せ先

公益財団法人東京しごと財団 雇用環境整備課「スキルアップ助成金」事務局
☎ 03-5211-0391 受付時間：9時～17時(12時～13時、土日・祝日、年末年始を除く)
<https://www.koyokankyo.shigotozaidan.or.jp/jigyoskillup/skillup.html> ▶▶▶▶▶▶▶▶



令和7年度

中小企業デジタルツール導入促進支援事業

助成金

対象事業者	都内中小企業者等(会社・個人事業主・中小企業団体)
支援内容	都内中小企業者等のデジタルツール導入に係る経費の一部を助成 専門家によるフォローアップ支援
助成率	助成対象経費の1/2以内(小規模企業者は2/3以内)
助成限度額	最大100万円(下限額5万円)
助成対象期間	2年間
対象経費	新たに導入するデジタルツール購入にかかる経費(ツール本体)と、そのデジタルツール導入にかかる初期設定、カスタマイズ、運用・保守サポートに要する費用(関連経費)の一部
申請期間	10月予定 下記ホームページよりご確認ください

- ◎ バックオフィス業務の削減
- ◎ 社内コミュニケーションの活性化
- ◎ 営業・マーケティングの自動化促進

申込・問合せ先

東京都中小企業振興公社 中小企業デジタルツール導入促進支援事業事務局
☎ 03-4446-9058 <https://www.tokyo-kosha.or.jp/support/josei/jigyodigital-tool.html> ▶▶▶▶▶▶▶▶



経営上のトラブルはお早めに

経営安定特別相談室へご相談ください!

- ・債権回収
- ・立ち退き
- ・雇用トラブル
- ・資金繰り悪化
- ・事業縮小
etc.



弁護士・中小企業診断士・税理士

を中心とした各分野の専門家
が経営トラブルの相談に応じます

相談申込

ヒアリング

助言・指導

まずはお近くの商工会へ! 詳細はホームページにて

<https://www.shokokai-tokyo.or.jp/consultation/window/keieianteisoudan>



東京都商工会連合会 経営安定特別相談室 ☎042-540-0131 9:00～17:30(土日・祝日を除く)

ライドアラウンド in 東京多摩2025 開催!!

参加費
無料

多摩観光推進協議会事務局

ライドアラウンドとは、自転車で街を巡るポイント獲得ゲームです。

自転車で街を巡ってスポットを訪れたり、グルメを楽しんだりすることでポイントを獲得。獲得したポイントは商品への応募に利用できるほか、通貨として商品と交換可能!スポットは400か所以上!ファミリーでも楽しめる「謎解きクイズ」も同時開催!

開催期間:9月20日(土)~11月30日(日)

参加方法:スマホアプリ「TraVelo(トラベロ)」をダウンロードし、ユーザー登録をおこなってください。(無料)



いつでも
どこでも
スタートOK!



東京都スポーツ推進本部スポーツ総合推進部スポーツ課

東京都では、ラジオ体操など従業員のスポーツ・運動を促進する取組やスポーツ分野の社会貢献活動を行う企業等を「東京都スポーツ推進企業」として認定しています。皆様ぜひ御申請ください!

(認定のメリット)

- ①認定証や認定ステッカーが交付されます。社内外にPRするなど企業のイメージアップにお役に立てます。
- ②手軽なストレッチから有名アスリートの直接指導まで、推進企業だけが利用できる従業員等向けプログラムを、豊富なメニューをご用意しています。

- 詳細・申請 東京都スポーツTOKYOインフォメーション
<https://www.sports-tokyo-info.metro.tokyo.lg.jp/company>
- 締め切り 10月31日(金)
- 問い合わせ先 東京都スポーツ推進企業認定制度事務局
(株式会社スケール内)
TEL 03-6820-3120 (平日9時~17時)
メール sports_tokyo@scale.co.jp

第42回 駅前放置自転車 クリーンキャンペーン

2025年10月22日(水)~10月31日(金)

Station

自転車の 代わりに置こう 思いやり

Leave behind your thoughtfulness, not your bicycle.

東京都 区市町村・駅前放置自転車クリーンキャンペーン推進委員会・警視庁
東京都交通局・JR東日本(一社)日本民営鉄道協会(関東鉄道協会)
(一社)東京バス協会・首都圏放置自転車対策協議会

リサイクル適性 A
この製品は、資源物としてリサイクルされます。

白濁印刷を希望する場合はインキを使用しています。



~共同募金~ 「つながりをたやさない社会づくり」へ

昭和22年に国民たすけあい運動として始まった「赤い羽根共同募金運動」は、みなさまのご協力に支えられ、今年で79回目を迎えます。みなさまからのご寄付金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるように地域共生社会の実現に向けた福祉のまちづくりのために役立てられています。

★記念日やイベント、 ホームページなどに 赤い羽根を…★

設立記念日や屋外イベント、ホームページなどでの赤い羽根とのコラボレーションをお願いします。さまざまなシーンで赤い羽根を配られたり、ホームページに赤い羽根マークをご活用いただくことでCSR・SDGs活動への取り組みにつながります。

社会福祉法人 東京都共同募金会 TEL03-5292-3182/HP <https://www.tokyo-akaihane.or.jp>

職場のメンタルヘルス対策推進キャンペーン

東京都産業労働局

東京都は、職場における積極的なメンタルヘルス対策を促進するため、9月1日~11月30日を「職場のメンタルヘルス対策推進キャンペーン」として、オンラインにてシンポジウム及び相談会を実施します。

■職場のポジティブメンタルヘルスシンポジウム 視聴無料/事前申込制

【ライブ配信】 10月23日(木) 13時30分~16時30分

【オンデマンド配信】 11月1日(土) 10時00分~11月30日(日) 23時59分

慶應義塾大学 島津明人氏 及び 富士通(株)による基調講演、ポジティブメンタルヘルスに取り組む都内企業2社、社労士法人中村・中辻事務所 中辻めぐみ氏を交えたパネルディスカッションを行います。

■職場のメンタルヘルス対策オンライン相談会 相談無料/要予約(定員18社)

職場内におけるメンタルヘルス対策の進め方などについて産業カウンセラー等による個別相談会を実施します。
11月13日(木)・14日(金) 9時30分~15時50分(1社あたり40分)

<https://www.hataraku.metro.tokyo.lg.jp/kaizen/mental/suishin/r7/>

問い合わせ先

東京都産業労働局雇用就業部労働環境課
TEL03-5320-4652



10月11日 多摩・島しょ地域のイベント

中止あるいは延期されることもあります。念のため、主催者に日にち・会場などを確認の上、お出かけください。

日程	イベント名・内容	会場	主催者・問合せ先
10月	11日(土) 新島村 島民まつり 2025 ・舞台発表・飲食店・ゲーム・小物販売・企画展示	新島 旧中学校校庭	新島村企画調整室 (04992(5)0204)
	12日(日)～ 13日(月・祝) 調布市 第70回調布市商工まつり 市内商工業者の物販・PR、歌好きグランプリ、こどもおしごと体験、ステージイベント、お楽しみ抽選会他	調布市役所前広場・たづ くりくすのきホール他	調布市商工会 (042-485-2214)
	19日(日) 東久留米市 ひがしくるめ川柳コンテスト発表会 東久留米をテーマとして川柳を募集し、優秀作品を発表する。会場内では地域事業者の物販コーナーも開設する	滝山中央名店会 センター広場	東久留米市商工会 商業・サービス業部会 (東久留米市商工会:042-471-7577)
	19日(日) 小平市 小平市民まつり 食品・物品等の販売	あかしあ通り 仲町第2公園	市民まつり実行委員会 (小平市役所内:042-346-9809)
	19日(日) 武蔵村山市 むらやマッチング 男女の出会いの場のための恋活イベント。20歳～39歳までの独身男女が対象。(事前申込)	イオンモールむさし 村山 つむぐひろば	武蔵村山市商工会商業部会 (武蔵村山市商工会:042-560-1327)
	19日(日) 清瀬市 きよせ市民まつり 2025 ステージイベント、緑日・即売出店、キッチンカー出店 など	けやき通り(清瀬駅北 口から志木街道まで)	きよせ市民まつり実行委員会事務局 (清瀬市:042-497-1808) (清瀬商工会:042-491-6648)
	20日(月)～ 24日(金) 新島村 第36回新島国際ガラスアートフェスティバル ・ガラス創作公開・ワークショップ	新島 ガラスアートセンター	新島ガラス協会 (04992(5)1540)
	24日(金)～ 26日(日) 稲城市 第24回Iのまちいなぎ市民まつり びっくり市・工業展・建設業PRコーナー・農産物品評会など	稲城中央公園	Iのまち いなぎ市民まつり実行委員会 (稲城市役所内:042-378-2111)
	25日(土) 新島村 ニュー商工まつり新島DIY ・舞台発表・飲食店・体験ブース	新島 スポーツ広場	新島村企画調整室 (04992(5)0204)
	25日(土)～ 26日(日) 日の出町 日の出町合併70周年・町制施行50周年記念 第37回日の出町産業まつり ステージイベント・模擬店	イオンモール日の出	日の出町産業まつり実行委員会 (日の出町産業観光課内:042-588-4101)
11月	1日(土)～ 2日(日) 羽村市 はむら市民と産業のまつり2025 ステージイベント 展示(工業展、農業展、消費展)、即売(商工会員、市民団体)、PRコーナー、名産品販売など	S&Dスポーツパーク 富士見(富士見公園)	実行委員会事務局 (羽村市商工会:042-555-6211) (羽村市産業振興課:042-555-1111)
	1日(土)～ 2日(日) 調布市 令和7年度ちようぶ青空マーケット 旬の特産品販売、飲食物販売、雑貨販売、自治体等による観光・物産PR	つつみち(トリエC館 映画館横)	調布市商工会 (042-485-2214)
	2日(日) 国分寺市 第42回国分寺まつり 市の文化・歴史・福祉・地域産業を知り、市民がふれあい、互いに手を結び助け合うまつり。市民まつり、農業祭、商工まつりが同時開催。	都立武蔵国分寺公園	国分寺まつり実行委員会事務局 (国分寺市役所文化振興課内:042-312-8611)
	2日(日)～ 3日(月・祝) 東大和市 第56回東やまと 産業まつり 市内商工業者による事業PR、物産展、製品展示、模擬店、ステージイベント。市内農作物の品評会および直販など。	東大和市役所 周辺	東やまと産業まつり実行委員会 (042-562-1131)
	1日(土)～ 3日(月・祝) 国立市 第58回天下市 大学通りに約100張りのテントを出店。市内の商店・企業が独自のセールを行う。日替わりイベントも開催	大学通り(JR中央線 国立駅南口)	第58回天下市実行委員会事務局 (国立市商工会内:042-575-1000)
	8日(土) 三宅村 WE RIDE 三宅島エンデューロレース2025 雄山七島展望台周辺の特設コースにて100名を超えるモトクロスライダーがエントリーする、オフロード周回レース。	雄山特設会場	三宅島スポーツ振興会 (三宅村役場観光産業課商工係:04994-5-0920)
	8日(土) 福生市 第41回福生蔵開き 新酒の時期に合わせて酒造見学や新酒販売等行います。今年は福生市営西口駐車場にてビールフェスも開催します。	石川酒造 田村酒造場 福生市営西口駐車場	福生蔵開き実行委員会 (042-551-2927)
	8日(土)～ 9日(日) 日野市 第59回日野市産業まつり 産業展・商工展・その他の展示、ダンスイベントなど	市民の森ふれあいホ ール周辺	日野市産業まつり実行委員会 (日野市商工会内:042-581-3666)
	8日(土)～ 9日(日) 小金井市 第3回こがねい産業祭り 模擬店出店・農産物販売・ステージイベント・工作コーナー他	JR武蔵小金井駅南口 0-列、フェスティバルコート 等	こがねい産業祭り実行委員会 (042-316-3980)
	8日(土)～ 9日(日) 東村山市 第64回東村山市民産業まつり 各種イベント、模擬店出店	TAC東村山スポーツ センター周辺	東村山市民産業まつり実行委員会 (042-393-5111)
	8日(土)～ 9日(日) 小平市 第35回小平市産業まつり 小平市内の商工業者による模擬店及び商品PR、農産物品評会など	小平市役所周辺 JA東京むさし小平フ ァーマーズマーケット	東京むさし農業協同組合小平支店 (042-348-7244)
	8日(土)～ 9日(日) 瑞穂町 第52回瑞穂町産業まつり 町内の農畜産物と工業製品の展示・販売、商工業者や各種団体の模擬店、ステージ等のイベントなど	スカイホール・ビュ パーク競技場	瑞穂町産業まつり実行委員会 (042-557-7633)
	8日(土)～ 9日(日) 武蔵村山市 第17回村山デエダラまつり デエダラ山車などの運行、飲食・展示即売、ステージイベントなど	イオンモールむさし 村山臨時駐車場	武蔵村山市民まつり実行委員会 (武蔵村山市産業観光課内:042-565-1111)
	15日(土) 三宅村 第26回三宅島産業祭 毎年11月に行われる三宅島の産業の祭典。	三宅村役場 臨時庁舎駐車場	三宅村 (三宅村役場観光産業課農林水産係: 04994-5-0920)
	15日(土)～ 16日(日) 東久留米市 第43回東久留米市市民みんなのまつり農業祭・商工祭 農業祭(品評会、即売会、試飲など)／商工会(商品展示、即売会、模擬店など)／市民祭(行政ブース展示、市民交流イベントなど)	まろにえ富士見通り(東 久留米駅から東久留米 市役所前)、市民プラ ザ、市役所ひろば 他	東久留米市市民みんなのまつり農業 祭・商工祭連絡協議会 (東久留米市産業政策課:042-470-7743)
	16日(日) 狛江市 第49回狛江市民まつり 商工祭、農業祭、文化祭などでの店舗出店や催事、パレードなど	えきまえ広場など	第49回 狛江市民まつり実行委員会 (狛江市役所内:03-3430-1111)
	22日(土)～ 23日(日) 日野市 第17回たかはたもみじ灯路 駅前街の街並みを灯籠で装飾	高幡不動駅周辺	日野市まちおこし連絡協議会 (日野市観光協会内:042-586-8808)
	23日(日)～ 24日(月) 昭島市 第55回昭島市産業まつり 市内事業所の製品や取扱商品の展示・販売等	カインズ昭島店周辺 特設会場	昭島市産業まつり実行委員会 (昭島市産業活性化課:042-544-4134)

小規模事業者の

事業承継

- 専門家派遣を活用した支援事例紹介 -

「後継ぎは息子に決まっているから大丈夫」

「小規模だから税金はかからないだろう」

…………その思い込みに落とし穴!!

課題を見える化して、円滑な事業承継へ



事業承継に取り組もうとすると、「何から始めればいいのかかわからない」「誰に相談すればいいのかかわからない」と悩まれる方も多くいらっしゃいます。

今回は、実際に商工会へ相談された事業者が、専門家派遣制度を活用して円滑に事業承継を進めることができた事例をご紹介します。

【ご相談のきっかけ】

株式会社Aは、代表であるお父様が長年営んできた町工場です。代表の高齢化に伴い、長男へ事業を引き継ぐ予定でしたが、いざ事業承継を進めようとしたところ、何から手を付けていいのかわかりませんでした。そこで地域の商工会へ相談したところ、経営指導員の案内を受けて「多摩・島しょ経営支援拠点の専門家派遣（以下、「拠点」という）」に申し込みをされました。

【支援のながれ】

①コーディネーターによるヒアリング

申込後、まずは拠点の担当コーディネーターとの面談となります。この面談で承継に向けた課題を確認したところ、代表の「うちは小規模だから……」「言わなくてもわかっているだろう……」という思い込みから、後継者やその他のご家族の間で十分に話し合いができていなかったことが明らかになりました。また株式の移譲に伴う贈与税や相続税、代表名義の設備、代表からの借入金など、早めに手を打つ必要のある課題も多数見つかりました。

②課題に精通した専門家の選定

ヒアリングで確認した課題を整理し、中小企業診断士や税理士を専門家として選定し、家族間の合意形成や、見過ごされがちな金銭面の課題解決

を、専門分野ごとにサポートすることになりました。

③コーディネーターと専門家による継続支援

家族経営の事業承継を成功させるためには、当事者だけではなく相続人からの理解を得ることが重要なポイントになります。そこで専門家を間に入れて、代表と後継者、後継者以外のご家族で話し合う場を設けました。会社の将来や代表の個人資産について、一つひとつ丁寧に説明した上でご理解をいただき、将来的なトラブル回避のために合意書を作成するアドバイスも行いました。

次に代表からの借入金は相続財産になるため、計画的に返済を進める必要があります。それらを踏まえて、承継に向けて実施すべき課題やスケジュールを洗い出し、「事業承継計画」にまとめました。これにより、やるべきことが明確になり、スムーズな事業承継へつなげることができました。



今回の事例のように、後継者が決まっても解決すべき課題は少なくありません。第三者が介入することで、やるべきことが整理され、事業承継の全体像が明確になります。円滑な事業承継の実現には早期のご相談が鍵となりますので、まずはお近くの商工会までご相談ください。

T²BASE 多摩・島しょ経営支援拠点 専門家派遣

* 専門家を派遣してのご支援は、最大12回までです。 * 相談は無料です。

* 事業承継のほか、販路開拓、創業、DX・GXなどさまざまな課題に対応いたします。

<https://t2abase.tokyo/expert/index.html>

この人に聞く

多摩おとし・ 島おとし

清瀬市

No.46

確かな品質で
100年企業に

船用電球株式会社
取締役社長
古谷 誠治 氏



【会社の概要】

船用電球株式会社は大正12年に、漁業用電球の専門メーカーとして創業した電球製造会社です。当社は創業102年を迎え、現在の取締役社長は4代目となります。

創業当時は夜間漁で漁火(いさりび)を用いており、火災が頻発していたことから、政府主導のもと、バッテリー電源による安全な船舶用電球の開発が検討されました。そこで、波やエンジンによる激しい振動に耐えられる強度、省エネルギーでありながら十分な明るさを確保した船舶用電球を開発しました。戦前には樺太や満州、台湾など広範な地域に製品を展開していましたが、戦時中は資材の調達が難しくなり、同業者と協力するかたちで事業を続けました。戦後、船舶用電球に加えて鉄道用電球の製造も始め、鉄道の復旧・発展に貢献しながら、事業を拡大していきました。現在では、振動・衝撃に強い艦船用電球を独自技術で開発し、防衛省の認可を得ることができました。

当社では品質の高い製品はもちろんのこと、「環境にやさしいものづくり」を指針としており、10分の1の消費電力で20Wと同等の明るさで発光する、提灯用LEDランプの開発などを手掛けております。

【100年続けていく中で苦労した点】

現在に至るまで、変化する需要に真摯に向き合っており、取り組んでまいりましたが、近年で大きな転機を迎えたのは、今から約20年前、防衛省の新造船向けに対応する新たな電球の開発に着手したことです。今までは、細かな改良を重ねることが中心でしたが、仕様変更による再設計に加え、短期間で検査や性能テストを自社で実施する必要があり、大変苦労しました。当時は手探りの中での取り組みでしたが、既存技術を活かしながら必要な機材を新たに整えるなど工夫を重ね、自社内での対応を実現し、製品化することができました。今振り返ると、ものづくりの原点に立ち返るような、非常に印象深い経験となっています。

【人が一番の宝】

長きにわたって事業を続けてこられたのは、確かな

品質の製品を提供し続けてきたことが大きいと思います。高い強度と品質を保つため、製造工程の多くに特殊な技術を要する手作業が取り入れられています。

こうした製品をつくり続けていくうえでは、なによりも「人こそが一番の宝」だと考えています。従業員が安心して無理なく働ける環境づくりに取り組み、その甲斐もあって、長く勤めていただいている従業員や、地域の子育て世代を含む女性従業員も多く在籍しています。

【今後の展望】

当社では「地域への貢献」を大事にしており、地域雇用を支えるほか、中学生の職場体験を積極的に受け入れています。子どもたちが、ものづくりの面白さに触れ、興味や関心を育む機会を提供し、次世代の可能性を広げる一助となることを目指しています。

また、近年では同業他社の廃業も増えており、そのなかで当社が電球の製造を引き継ぐケースも多くなりました。「お客様に迷惑をかけたくない」という思いのもと、自社で可能な限り対応し、状況に応じて別の工場に依頼するなど、柔軟に対応を続けています。

今後も、経営環境の変化に真摯に向き合いながら、事業や業界の継続、発展に努めてまいりたいと思います。



船用電球 株式会社

〒204-0003 東京都清瀬市中里5丁目18番地

TEL:042-493-7111

URL: <https://hakuyolamp.co.jp/>



R70

再生紙を使用しています。



編集/発行 東京都商工会連合会

〒196-0033 東京都昭島市東町3-6-1 産業サポートスクエア・TAMA

TEL:042-500-1140 FAX:042-500-1421

URL: <https://www.shokokai-tokyo.or.jp/>